

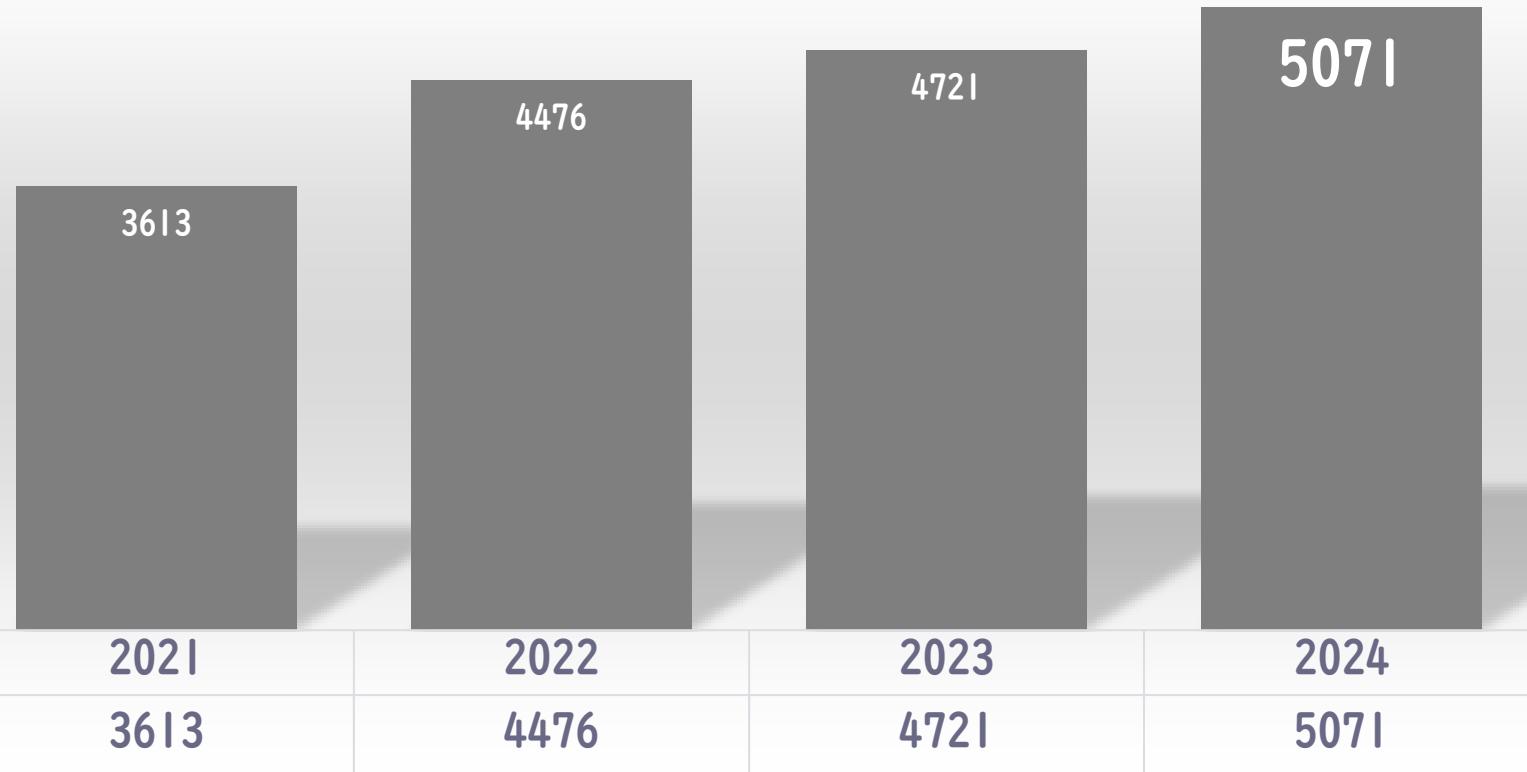
西鳥取・下莊地域包括支援センター

令和6年度 事業報告-概要版-

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会
阪南市西鳥取・下莊地域包括支援センター

総合相談

総合相談件数



- ・相談件数が増加。団塊の世代が75歳以上になり、今後も相談件数が増えることが予想される。
- ・介護保険サービス、医療、認知症、家族関係に関する内容の相談が上位を占めている。その中でも、夫婦ともに精神疾患の世帯やひきこもりの子どもがいるなど、複雑で複合的な相談が増えている。

特徴的な相談事例 複雑で複合的な課題を抱えた世帯



妻:介護保険サービス利用
夫:介護者家族の会や
ひきこもりの家族会への参加の促し
子ども:CSW、アウトリーチ専門員の介入
お金の問題:生活困窮自立支援へのつなぎ
家族全体:民生委員
地域での見守りの協力依頼
いろいろ方法は思いつくけれど・・・

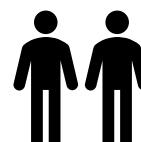


複雑に絡み合った課題は
一筋縄ではいかない

多機関協働



伴走型支援



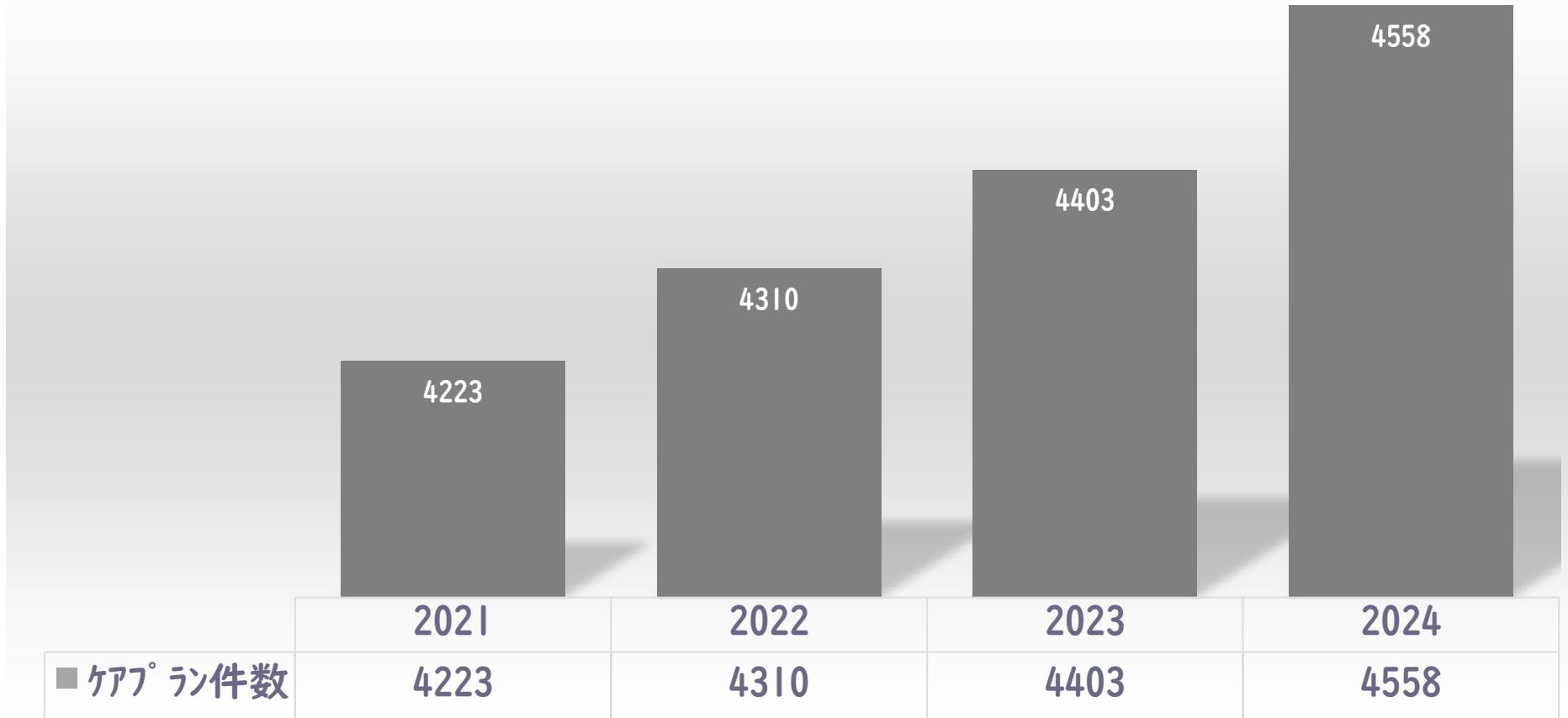
予防的な関わり



ケアプラン

ケアプラン作成件数-包括開設年度より-

*要支援認定者



- ・ 総ケアプラン数は増加（介護保険法改正により、包括支援センターを介さなくとも居宅介護事業所が直接利用者と契約できるようになったにも関わらず、介護保険サービスの利用者が増加）
- ・ ケアプラン作成件数が増加し、ケアマネジャーへ委託を調整する際に時間をする場合が多い。

権利擁護に関する相談件数

相談内容内訳	相談件数（昨年度）
権利擁護	44 (19)
成年後見等	128 (79)
虐待関係	77 (27)
消費者被害	3 (2)
財産・経済問題	119 (92)
その他	7 (5)
合計	378 (224)

権利擁護に関する相談内容

成年後見に関する相談が増加 

制度の説明を聞きたいという相談が増加。

虐待関係の相談が、2.8倍に 

令和6年度から各事業所に虐待防止委員会の設置が義務づけられ、意識の高まりが影響。包括内でも委員会を設置。より迅速に対応できるように職員の知識の向上のための研修、書類の簡素化などを実施

他機関と連携し、対応力のUP

障がい分野、司法書士、警察や金融機関との他分野との意見交換を実施

スキルアップ研修の開催（東西包括主催）

はなていネット多職種



講師：前田 宗博氏
(大阪城南女子短期大学)

対象をはなていネットの多職種に広げて実施。専門職が気づくためにも、虐待をしないためにも「虐待」の認識をアップデートすることが大切。

ケアマネジャー資質向上研修



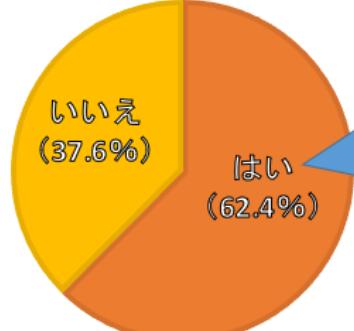
講師：小川 宜修氏
(社会福祉法人 せんわ)

事例を用いての相談や質問に答える形で、ケアマネジャーの困りごとを相談。「具体的に成年後見制度につなぐタイミングがわかった」との声が多く寄せられる。

介護予防・健康づくり～フレイル対策～

いきいき百歳体操の場を健康教育の機会へ

Q.転倒に対する不安は大きいですか？



回答	割合
いいえ (37.6%)	
はい (62.4%)	

骨粗しょう症・転倒の予防について

★運動★

インターバル歩き

- 「はや歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法です
- 1日に「はや歩き」を15分、週4日以上を目安に行いましょう
- 大股歩きをすることで、正しい姿勢をキープしましょう

ダイナミックフラミング法

- 片足で立ち、床から脚を5cm程度あげます
- そのまま1分間とめます
- 反対の足も同様に行います

※椅子や机に軽く触れて行いましょう

★食生活★

カルシウム

骨の材料となります
小魚、乳、乳製品、豆腐、小松菜、ほうれん草

ビタミンD

カルシウムの吸収を助けます
※日光を直接浴びると体内でも作られます
鮭、さんま、鰹、きくらげ、干し椎茸

ビタミンK(※)

骨へのカルシウム沈着を促します
骨の強度をあげます
卵、ブロッコリーなどの緑黄色野菜、納豆

体力測定会への協力



地域リハビリテーション部会（はなていネット）の理学療法士が測定会へ協力
測定結果に対してアドバイスを実施
包括もフレイル対象の方へ介入

説明、案内が親切で助かりました。

定期的に体力について意識する機会は大切だと思うのでまた参加したいです。

市民公開講座 人生会議 ーよりよくいきるためにー

私と家族のために意思を伝えよう
～それを支える医療・介護チーム～



第1弾

八田 三紀氏
(くるみ薬局薬剤師)
梁 晃子氏
(社会福祉法人さくら 訪問看護師)

「人生会議をしていたからこそ貫けた本人の思いと、それでも揺れる家族思い」をお聞きし、人生会議は大切な人のためにもあることを学ぶ。

参加者
93名

人生会議を考える上で必要な話
～在宅医療、お金のはなし～



第2弾

西原 功氏
(泉佐野泉南医師会地域連携室長)
大阪信用金庫
(FAマネジメント担当)

参加者
86名

受講後のアンケートでは、70%の人が
「今後、家族間で人生会議について話し合
いたい」という結果に。

当事者組織支援～パーキンソン病患者会：あざみ会事務局～

あざみ会の活動支援

令和 6 年度 活動計画

月/日	曜	内 容	ハーモニカ	体 操	交 流 会	会 場
4/12	金	特別例会：総会	○	×	○	地域交流館
5/10	金	通常例会：音楽健康指導士	×	×	○	地域交流館
6/14	金	特別例会：体力測定会	×	×	×	くるみスマイル
7/12	金	通常例会：交流会	○	○	○	地域交流館
8/9	金	【休会】				
9/13	金	通常例会：交流会	○	○	○	地域交流館
10/11	金	特別例会：ミニ運動会	×	×	×	地域交流館 体育施設
11/8	金	特別例会：公開講座 (仮)『介護保険制度について』	×	×	×	地域交流館
12/13	金	通常例会：音楽健康指導士	×	×	○	地域交流館
令和 7 年 1/10	金	特別例会：新年会	○	×	×	地域交流館
2/14	金	通常例会：交流会	○	○	○	地域交流館
3/21 第 3 金曜	金	通常例会：交流会	○	○	○	地域交流館



ケアマネジャー部会から講師を依頼し
「介護保険の制度」について勉強



交流会では、同じ病気の仲間の思いに共感され、
涙される場面も。家族同士のつながりにも。

認知症支援

認知症講演会 ～口腔機能と認知症について～

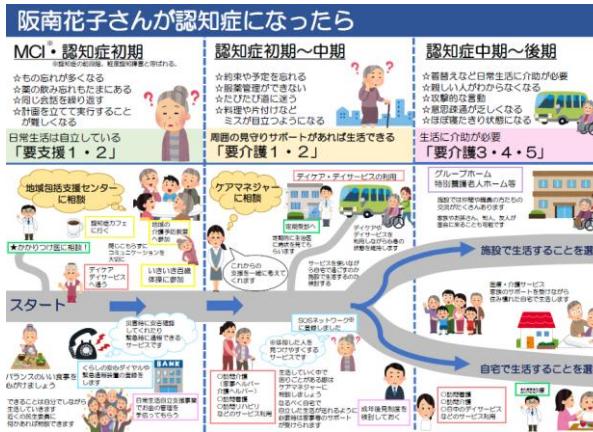


高橋言語聴覚士
原田歯科衛生士
(保健センター)

ガムを噛み、自身の口腔機能チェック
歯の喪失、難聴が及ぼす認知症について

参加型の講演会がよかったです
いつもと違う視点から学びが深まった

認知症ケアパスの発行、周知



「自分や家族が認知症かも」と不安になったときの指標になるようなパンフレットの作成・活用

認知症当事者の思いを聞く場 ～本人ミーティング～

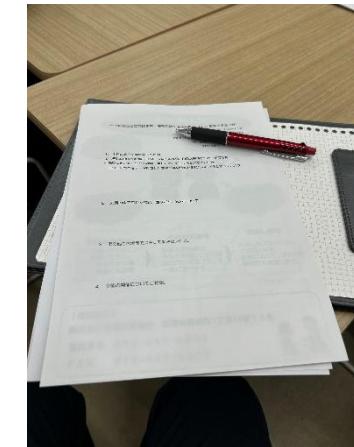
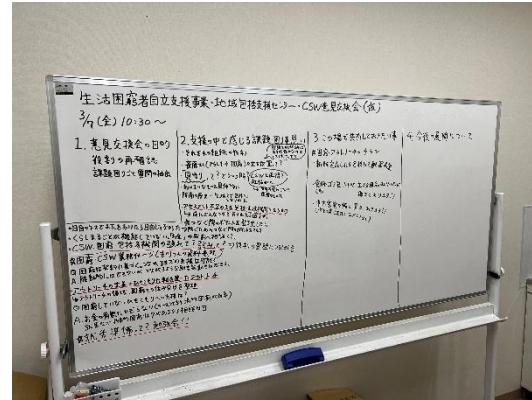
本人ミーティングとは、認知症当事者が物忘れについての不安や、思いについて吐き出す場。

「デイサービスに行くときは紛れるが、自分の気持ちを話せる場ではないので、こことは違う」



コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 事業

～多機関協働・連携のための第一歩～



社会福祉協議会 生活支援グループ（生活困窮者自立支援事業）と東西包括 CSWの情報交換の様子

高齢、障がい、児童、生活困窮など様々な分野の相談機関と連携を深め、相談者へよりよい支援が提供できるよう情報交換をおこない、各機関の役割や困りごとを共有

令和6年度に情報交換をした機関

- ・まつのき園、社会福祉協議会 権利擁護グループ
- ・保健センター
- ・社会福祉協議会 生活支援グループ



コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 事業

～ひきこもり支援、当事者・家族の会への参加～

相談内容内訳	相談件数 (昨年度)
福祉制度 サービスに関すること	617 (719)
生活に関する身近なこと	242 (151)
生活費のこと	24 (16)
子どもに関すること	28 (7)

不登校など子どものひきこもりや
8050問題など大人のひきこもりの相談が増加

・尾崎公民館のひきこもり・地域の居場所づくり支援講座へ参加

・阪南市のひきこもり・地域の居場所づくり 草の根ネットワーク会議へ出席

・まんまの会（阪南市ひきこもり家族交流会）へ参加



ひきこもり支援のネットワークづくり
当事者の居場所、家族が思いをはきだせる場所へのつなぎ